

混合水栓

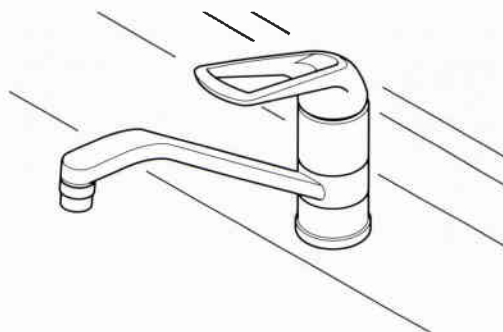
品番

W36SKS C37SKS	1A	一般地用	確認ナット接続仕様
	1B	寒冷地用	
	1C	逆止弁付用	
	2A	一般地用	袋ナット接続仕様
	2B	寒冷地用	

品番の頭には「SU・JG」などのキッチンシリーズを示す英字が入ります

取扱説明書

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は必ず保管してください。



もくじ

安全に関するご注意	1
各部のなまえ	2
使いかた	2
お手入れのしかた	3
水抜きのかた (寒冷地用)	4
故障かな?	5
仕様	6
定期的な部品交換	7
保証書	11

- お買い上げありがとうございました。
- よくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。

安全に関するご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
 - 表示内容を見逃し、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 注意 この表示は「傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です)














○記号は禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止)

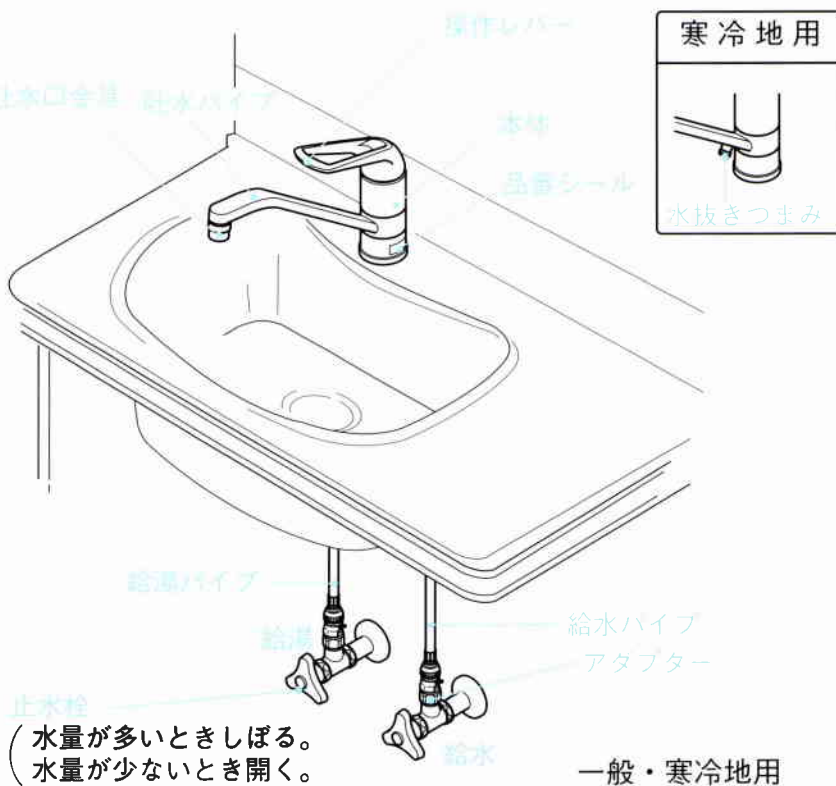


●記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。

安全に関するご注意

⚠ 注意			
<p>●絶対に分解・修理は行わないでください。</p> <p> 漏水の原因となります。修理は販売店へご相談ください。</p> <p>分解禁止</p>	<p>●水栓に上部から無理な力を加えたり、上から物を落としたりしないでください。</p> <p> 破損し、ケガをしたり漏水で家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>●水栓の操作(特に止水)はゆっくりとおこなってください。</p> <p>急閉止すると強い水撃(ウォーターハンマー)が発生し、接続部がゆるみ漏水で家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p> 必ず守る</p>	
<p>●水栓本体に直接肌を触れないでください。(特に高温の湯の使用時、または使用の直後など)</p> <p> 本体内部には給湯通路があり、やけどをするおそれがあります。</p> <p>接触禁止</p>	<p>●他所で急に水を使わないでください。</p> <p>水圧変動で湯温が大きく変動し、やけどをするおそれがあります。お湯を使うときは他所で急に水を使わないが、圧力変動の起こりにくい配管設備にするが、サーモ混合栓を使用してください。</p> <p> 禁止</p>	<p>●高温の湯を使った後はしばらく水を流してください。</p> <p>次に使用するとき、水栓内に残った高温のお湯が出てやけどをするおそれがあります。</p> <p> 必ず守る</p>	
<p>●配管パイプや止水栓に収納物を強くあてないでください。</p> <p> 破損し、ケガをしたり漏水で家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>●年に一度は、配管の周りを見て水漏れがないか確認してください。</p> <p> 確認しないと部品の劣化・摩耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p>必ず守る</p>	<p>●お湯を使うときには、操作レバーを水側(右側)で開けた後、湯温を確認しながらゆっくり湯側(左側)へ回してください。</p> <p>湯側(左側)でいきなり吐水すると、やけどをするおそれがあります。</p> <p> 必ず守る</p>	
<p>●給水取出口ふたおよび寒冷地用機種の水抜きつまみはいきなり開けないでください。</p> <p> 高温のお湯が出てやけどをしたり、水が吹出て家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>●凍結が予想される際は、室温を下げないように窓を閉め、水栓は布などの保温効果のあるもので包んでください。</p> <p> 守らないと凍結で水栓が破損し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p>必ず守る</p>	<p>●凍結が予想される際は配管の水抜き操作と水栓の水抜き操作を行ってください。(寒冷地用)</p> <p> 凍結破損でケガをしたり、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。</p> <p>必ず守る</p>	<p>●給湯機の圧逃し弁を所定圧(約1.75MPa)以上に設定しないでください。</p> <p> 設定圧を上げてご使用された場合、配管内の水圧が上がり、水漏れや不具合の原因となります。</p> <p>必ず守る</p>

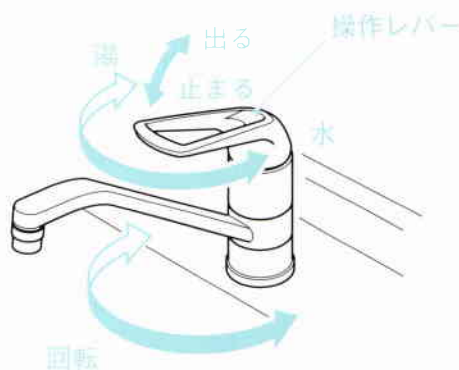
各部のなまえ



使いかた

- 1 止水栓が開いていることを確認する。
- 2 操作レバーで流量・温度調節する。

⚠ 注意	
<p>接触禁止</p>	<p>高温のお湯を使用時、使用直後は吐水パイプに直接触れないでください。 やけどをするおそれがあります。</p>



湯・水のバランス調整のしかた

温度調節がやりにくい時は、下記の要領でバランス調整を行ってください。

1 湯の量を見る



2 水の量を見る



3 水の量を湯の量にできるだけ近づける。



お手入れのしかた

ふだんのお手入れ

器具がいつまでも美しく保てるよう、日頃のお手入れをお願いします。

カランが汚れた時

中性洗剤をぬるま湯でうすめて浸した柔らかい布で拭いてください。



お願い

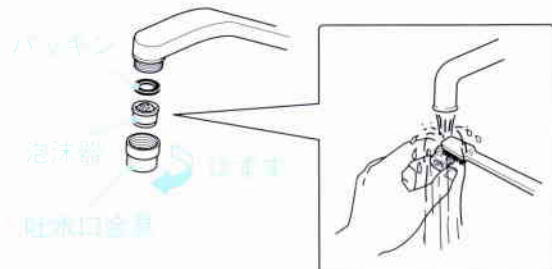
アルコール・ベンジン・シンナーの溶剤や酸性・アルカリ性洗剤などは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。また、みがき粉・クレンザーなどの粒子の粗い洗剤やスチール・ナイロンタワシなども表面を傷付けますので使わないでください。



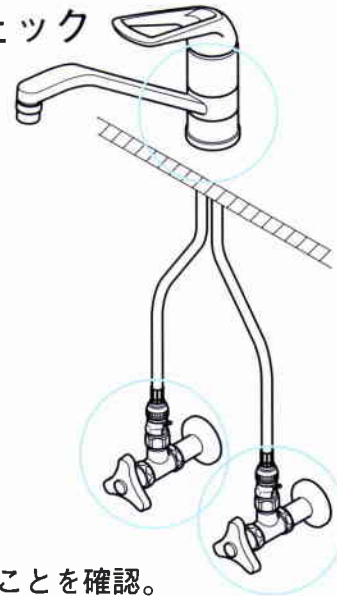
定期的なお手入れ・点検

泡沫器の掃除

泡沫器は定期的に掃除してください。
(ゴミなどの目づまりにより吐水量が少なくなります。)



水漏れチェック



水漏れのないことを確認。

注意



必ず守る

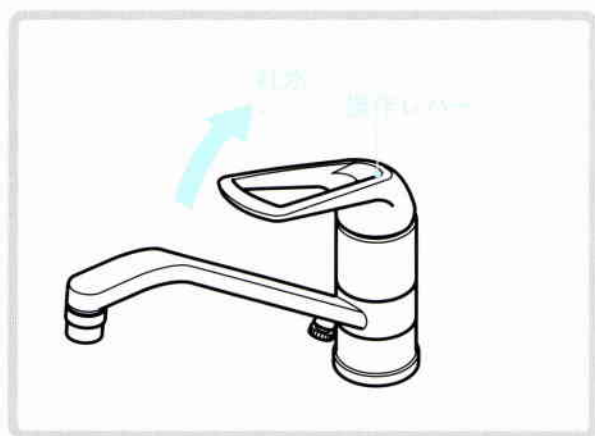
水漏れのないことを確認してください。
家財などを濡らす恐れがあります。

水抜きのみかた(寒冷地用)

■家屋凍結の恐れがある場合は、屋内の水抜きが必要です。

1 家屋の元栓を閉め、家屋の水抜きをする。

2 操作レバーを中央(湯水混合状態)で吐水状態にする。



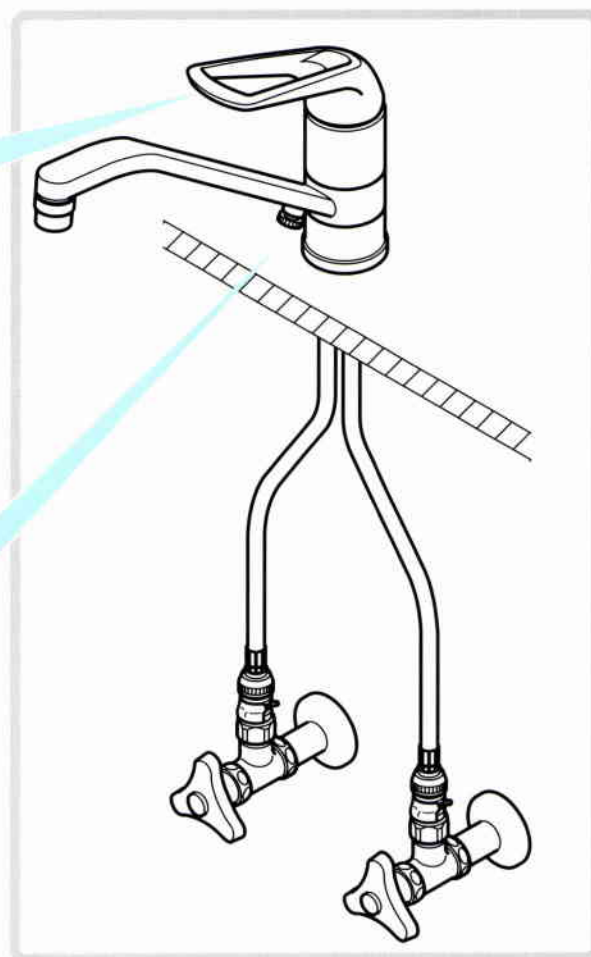
3 本体吐水口の水抜きつまみを左へ(約2回転)回す。



4 しばらく待ち、水抜きが完了したら、水抜きつまみを元の状態にもどす。

5 操作レバーを止水状態にする。

注意	
! 必ず守る	凍結が予想される場合は、配管と水栓の水抜き操作をおこなってください。凍結防止にセッティングしたり、潤水し、寒時など凍らせず恐れがあります。



注意	
! 必ず守る	給水取出口ふたおよび水抜きつまみは、いきなり開けないでください。高温のお湯が出たやけどをしたり、湯水が吹き出て家財などを濡らす恐れがあります。

水抜きのみかた(寒冷地用)

故障かな？

症 状	考えられる原因	処 置
吐水量が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓および元止栓が十分に開いていない ● 泡沫器の目づまり 	<p>止水栓および元止栓を開ける(下図参照)</p> <p>吐水口金具をはずし泡沫器を掃除する(下図参照)</p>
湯水が止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続パッキンの傷・ゴミかみ ● カートリッジ押えのゆるみ 	11ページのKVK修理受付センターへご連絡をお願いします。
操作レバー部から水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続パッキンの傷・ゴミかみ 	
操作レバーがガタつく	<ul style="list-style-type: none"> ● カートリッジ押えのゆるみ ● レバー止めビスのゆるみ 	
止水したとき音が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 水圧が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓で水量をしぼる ● ゆっくり止水する(レバーを下げる)
瞬間湯沸器が着火しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓がしぼられている ● 操作レバーで吐水量をしぼりすぎている ● 水圧が低い ● 水温が高い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 止水栓を全開にする ● レバー全開で使用する ● 給湯器の設定温度(能力切替式の場合は能力)を少し下げしてみる

故障かな？

吐水量の調節



⚠ 注意

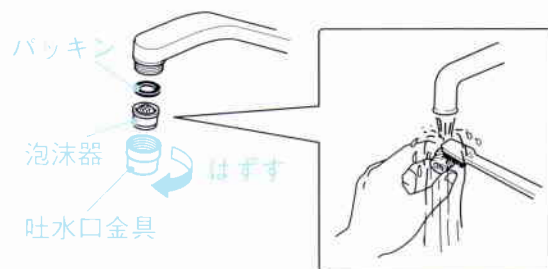


接触禁止

給湯パイプ(左側)は高温のため直接肌で触れないでください。やけどの原因となります。

泡沫器の掃除

吐水口金具をはずし、泡沫器を洗う。



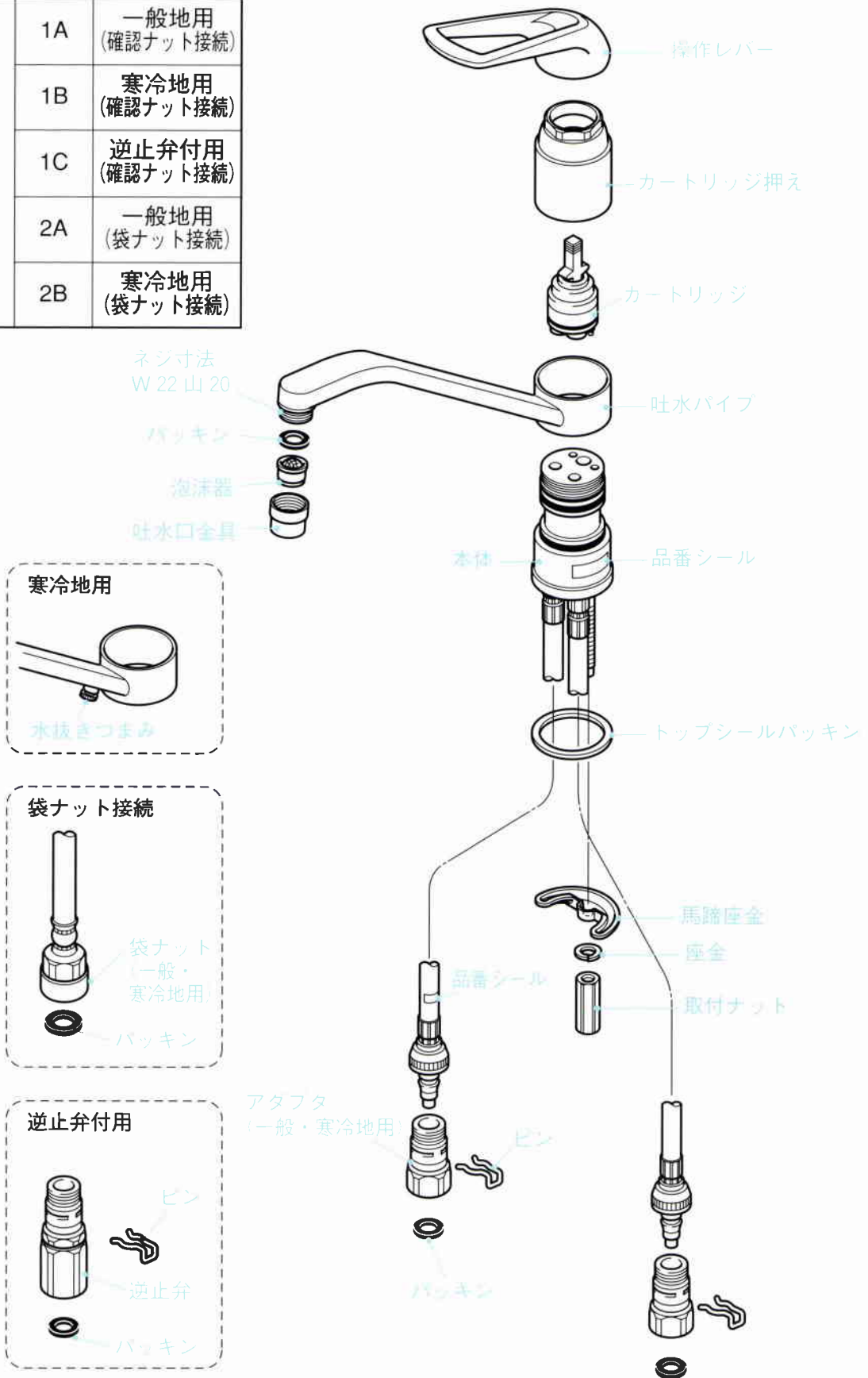
※掃除後は、吐水口金具を必ずもとにもどしてください。

〈お問い合わせ先〉

処置した後になお異常がある場合は、KVK修理受付センターにお問い合わせください。電話番号は11ページを参照してください。

仕様

品番	仕様
W36SKS (樹脂) C37SKS (めっき)	1A 一般地用 (確認ナット接続)
	1B 寒冷地用 (確認ナット接続)
	1C 逆止弁付用 (確認ナット接続)
	2A 一般地用 (袋ナット接続)
	2B 寒冷地用 (袋ナット接続)



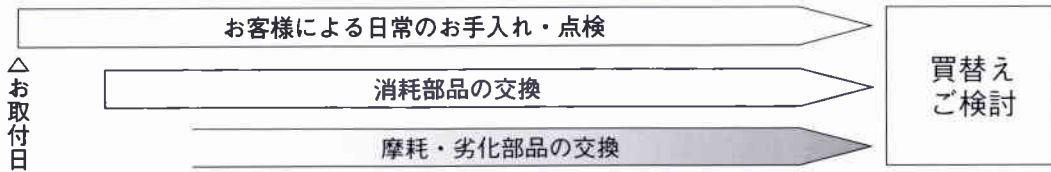
定期的な部品交換

快適にお使いいただくため定期的な部品交換をお願いします。

区分	部品	交換のサイン
消耗部品	各部パッキン類	止水不良、作動不良、異音の発生、 変色、ホースの硬化、各部の漏れ メッキはがれ、腐食、等
磨耗・劣化部品	カートリッジ、シャワーホース、シャワーヘッド、レバー、逆止弁 (安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。)	

使用年数

1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 11年 | 12年



メモ

メモ

メ 毛

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
商品引き渡し後下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示の上、KVK修理受付センターに修理をご依頼ください。
引き渡し日、販売店などの記入漏れがありますと無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

品番 **W36SKS・C37SKSシリーズ**

保証期間	商品引き渡し後 2年間	お引き渡し	<input type="text"/> 年	<input type="text"/> 月	<input type="text"/> 日	用途	一般家庭用
お客様	お名前	ふりがな					
	ご住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					
ご販売店	店名	電話 () (印)					
	ご住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>					

- 取扱説明書、取扱表示プレートなどの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で表記の保証期間内に不具合の生じた場合は無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (1)一般家庭用以外（業務用など）でご使用になった場合の不具合。
 - (2)専門業者や取付設置説明書などに基づかない取付に起因する不具合。
 - (3)使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理や改造に起因する不具合。
 - (4)専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合。
 - (5)建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
 - (6)表面仕上げの経年変化、使用に伴う磨耗などにより生じる外観上の不具合。
 - (7)特殊な水質、気温、その他特殊な環境下での使用における不具合。
 - (8)砂やごみ、給水・給湯配管の錆などの異物流入及び水あかの固着に起因する不具合。
 - (9)凍結に起因する不具合。
 - (10)こまパッキンなどの消耗部品の消耗・劣化に起因する不具合。
 - (11)ねずみなどの小動物や昆虫などの行為に起因する不具合。
 - (12)火災、地震、風水害、その他の天災地変または戦争、暴動など破壊行為による不具合。
 - (13)本保証書のご提示がない場合。
 - (14)本保証書にお客様名、販売先名及び引き渡し年月日の記載のない場合。
 - (15)浄水器付水栓において、浄水カートリッジ（消耗品）は保証の対象外になります。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- この保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保存してください。
- この保証書において無料修理をお受けになる場合は、KVK修理受付センターにご連絡ください。

●サービスメモ

年 月 日	サービス内容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は取付店・販売店またはKVK修理受付センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

技術料…診断・修理・調整・点検などの費用です。

部品代…修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料…ご依頼により技術者を派遣する費用です。

KVK修理受付センター TEL 0120-474-161

上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。
携帯電話からは**058-234-8946**をご利用ください。
受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00

製造元 **株式会社 KVK**
本社・工場 / 〒501-1195 岐阜市黒野308 / TEL058-239-3111 代表
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

パナソニック電工株式会社 水廻りシステム事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

施工説明書

シングルレバー式混合栓

品番	仕様	接続方法
W36SKS C37SKS	1A 一般地用	確認ナット接続
	1B 寒冷地用	
	1C 逆止弁付用	
2A 一般地用	2B 寒冷地用	袋ナット接続

品番の頭には「SU・JG」などのキッチンシリーズを示す英字が入ります。

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。配管工事は全て「水道法」「建築基準法」「各都市の条例、規定」に準じて行なってください。水道管工事は専門業者に依頼ください。

安全上のご注意

●ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。

●ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

●お守りいただく事項の種類を次の給表示で区分し、説明しています。

<p>警告 この給表示は、してはいけない「禁止」の内容です</p> <p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃より高温で使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>寒冷地仕様の場合 水抜きつまみは水抜き以外の目的で開けないでください。</p>	<p>警告 この給表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です</p> <p>加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等の改造はしないでください。</p> <p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p>	<p>注意 漏水を逆に配管しないでください。</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p> <p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p> <p>他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯の使用時に湯温が急上昇することがあります。</p>
--	--	--

<p>注意 器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>小型電気温水器(即湯器)等に給湯パイプを接続する際は、ステンレキ管等を介してください。</p> <p>高温の熱により給湯パイプの寿命が短くなり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>止水栓取り付け箇所や給水・給湯パイプとの接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。</p> <p>点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをすることがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>配管接続部をテーパねじに接続しないでください。</p> <p>禁止 テーパねじに接続すると、接続部がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>禁止 水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
--	--	--

取り付け前に

① 使用水圧〔A=(給湯機の最低作動水圧)+(配管圧力損失)〕

(1) 瞬間給湯機との組み合わせ(設定条件 水温:25℃ 給湯機温度調節:高温 吐水温度:42℃ ハンドル全開) 【比例制御式】 最低必要水圧: A+0.10MPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)

(2) 貯湯式給湯機との組み合わせ 【給湯・給水圧力】 最低必要水圧: A+80.0kPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)

② 操作レバーは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。

③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。

④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。

⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。

⑥ 給湯機の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。

⑦ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。

⑧ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。

⑨ 本製品は改造(加工及び接合、市販浄水器具の取り付け等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。

⑩ シャワーホースを伝って水がキャビネット内に浸入するおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。

⑪ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

⑫ 配管工事はすべて建築基準法、水道法、各都市の条例規定に準じて行なってください。

⑬ 接続する給湯器の取付設置説明書も併読してください。

パナソニック電気株式会社 水廻りシステム事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

取付完成図と各部の名称 / 分解図

分解図 部品の形状は仕様によって異なる場合があります。

取付完成図と各部の名称

No	部品名	品番 W36SKS・C37SKS				
		1A	1B	1C	2A	2B
1	本体	1	1	1	1	1
2	トップシールパッキン	1	1	1	1	1
3	馬蹄座金	1	1	1	1	1
4	パネ座金	1	1	1	1	1
5	取付ナット	1	1	1	1	1
6	アダプタ	2	2	-	-	-
7	ピン	2	2	-	-	-
8	パッキン	2	2	2	2	2
9	水抜きつまみ	-	1	-	-	1
10	袋ナット	-	-	-	2	2
11	逆止弁	-	-	2	-	-
12	品番シール	2	2	2	2	2

寒冷地用

袋ナット接続

逆止弁付用

取付位置の確認

※給湯管・給水管の位置は下図のように配管してください。

カウンター高さ	H(推奨寸法)
800	420
850	470
900	520

※止水栓は現場調達

●配管取付位置について

- 給水・給湯パイプはゆるやかに(R60以上)曲げてください。
- 給水・給湯管が足りない場合、各自治体の指示に従い、フレキ管等で接続してください。
- 止水栓の取付位置は上記の推奨寸法にならって取り付けてください。

取付設置例

【ご注意】

- 混合水栓を確実に取付設置するために、水栓の取付はカウンタをフロアユニットに固定する前に必ず行なってください。

取付手順1

1 カランの固定

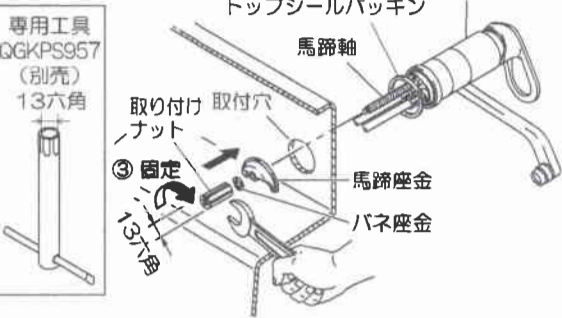
① 混合水栓に付いている取付ナット・パネ座金・馬蹄座金を取りはずします。(トップシールパッキンははずさない)
【お願い】
混合水栓を確実に取付設置するために、カウンターをフロアユニットに固定する前に必ず行なってください。

② 取付穴に混合水栓を差し込んでください。

③ 馬蹄座金・パネ座金を右図の順に馬蹄軸に差し込み、取付ナットを締め付けて固定してください。

【注意】

・取付ナットの締め付けには、専用工具QGKPS957(別売)で確実に行ってください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。しっかり締め付けられていないと、緩んだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・パネ座金を必ず取り付けてください。取り付けていないと、混合栓本体が緩んだり、ガタツキが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

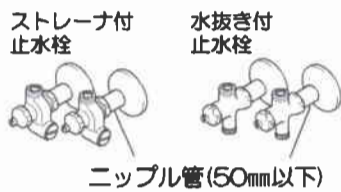


2 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

3 止水栓(別売)の取り付け

止水栓はストレーナ付が最適です。寒冷地用は水抜き付止水栓を取り付けてください。
【お願い】
ニップル管は50mm以下のものを使用してください。排水トラップの取付設置のさまたげとなります。



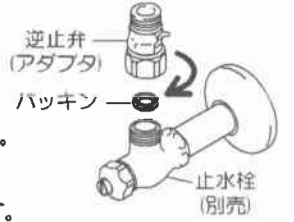
給水・給湯パイプの接続 (確認ナット接続の場合)

4 逆止弁(アダプタ)の接続

逆止弁(アダプタ)にパッキンをはさんでしっかりと止水栓に接続してください。

【注意】

・接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
・薄肉の接続管(ニップル等)には逆止弁(アダプタ)を接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・止水栓がしっかりと固定されていることを確認してください。固定されていないと給水・給湯パイプが抜け、漏水の原因となります。

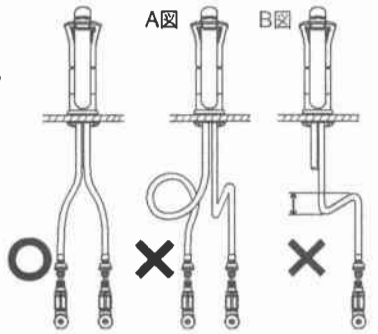


5 給水・給湯パイプの接続

① 給水・給湯パイプを下記の手順で確実に差し込んでください。

【注意】

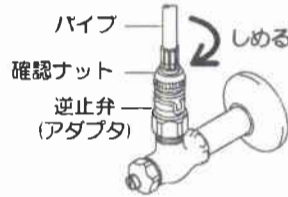
・給水・給湯パイプはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどで給水・給湯パイプが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
・給水・給湯パイプ同士の接触及び、壁などへの給水・給湯ホースの接触は避けてください。接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
【お願い】給水・給湯パイプは切断しないでください。



② パイプ先端の保護キャップと逆止弁(アダプタ)の保護キャップをそれぞれはずしてください。

③ パイプを逆止弁(アダプタ)に「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

④ パイプに付いている確認ナットを逆止弁(アダプタ)に締め込んで確実に接続します。



【注意】

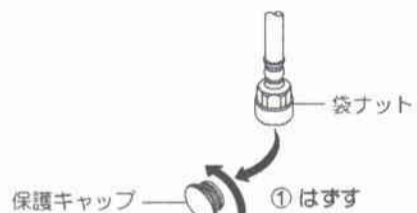
給水・給湯パイプを上引っ張って、抜けないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。給水・給湯ホース
抜けないことを確認

【注意】逆止弁(アダプタ)の固定ピンは抜かないでください。ピンが外れると漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

給水・給湯パイプの接続 (袋ナット接続の場合)

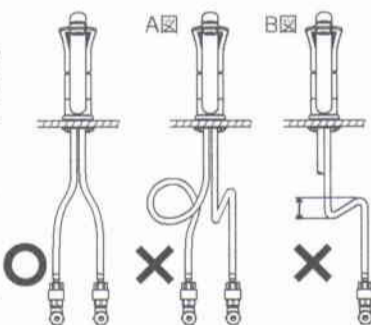
5 給水・給湯パイプの接続

① 袋ナットの保護キャップをはずします。

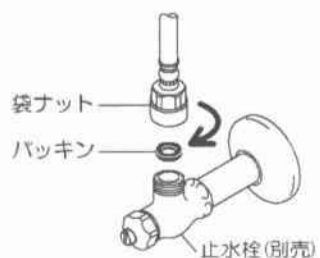


【注意】

・給水・給湯パイプはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
・上下戻り配管はやめてください。(B図)ウォーターハンマーなどで給水・給湯パイプが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
・給水・給湯パイプ同士の接触及び、壁などへの給水・給湯ホースの接触は避けてください。接触部から亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
【お願い】給水・給湯パイプは切断しないでください。



② 袋ナットを止水栓に接続します。



【注意】

給水・給湯パイプを上引っ張って、抜けないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。給水・給湯パイプ
抜けないことを確認

取り付け後の点検と清掃1

通水確認

【注意】

水栓を取り付け後、通水して漏水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

取り付け後の点検と清掃2

泡沫器清掃のお願い

吐水口の泡沫器にゴミ等がつまると、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

- ① 湯水全開で20~30秒吐水させます。
- ② 吐水口金具をはずします。
- ③ 泡沫器をブラシで水洗いします。



清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

湯温・流量調節

操作レバーが正面を向いている位置で湯温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お問い合わせいただくところ	処置	参照ページ及び項目
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
	泡沫器にゴミ等がつまっていますか	泡沫器を清掃する	8ページ「泡沫器清掃のお願い」
	ガス給湯機と組合せて使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする	—
	泡沫器は凍っていませんか	泡沫器にぬるま湯をかける	—
高温が出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
低温しか出ない	湯側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ「湯温・流量調節」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
湯温調節がうまくできない	湯側・水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁で流量を調節する	8ページ「湯温・流量調節」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯機の設定温度・作動を確認する	—
吐水が飛び散る	泡沫器にゴミ等がつまっていますか	泡沫器を清掃する	8ページ「泡沫器清掃のお願い」
	泡沫器にゴミ等がつまっていますか	泡沫器を清掃する	8ページ「泡沫器清掃のお願い」

【水栓本体のメンテナンスタンスをする場合】【注意】修理技術者以外の方は水栓本体を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体のメンテナンスは、取扱説明書に記載のKVK修理受付センターにご依頼ください。